

黒文字: 明日の仙台塩釜港を考える懇談会で整理済みの論点  
 赤文字: 地元自治体や団体からの要望・要請事項  
 緑文字: 第1回長期構想委員会で各委員から指摘された論点  
 紫文字: 現地視察を踏まえた論点(視察後の提出意見含む)  
 青文字: 昨今の社会情勢・貨物量や港湾政策の動向を踏まえた論点  
 橙文字: 第2回長期構想委員会で各委員から指摘された論点

# ■ 仙台塩釜港における課題と具体的な論点抽出 (第2回委員会意見反映版)

12 の 課 題	物流			防災・施設維持				環境		観光・交流		
	【課題①】 コンテナターミナルの取扱機能の効率化・拡充に向けた取組	【課題②】 ユニットロード貨物・バルク貨物取扱機能の効率化・拡充に向けた取組	【課題③】 労働者不足に対応する業務効率化・生産性向上への取組	【課題④】 国際戦略港湾の支援も視野に入れた広域的な防災港湾の体制強化	【課題⑤】 海面処分地の確保検討	【課題⑥】 港湾施設の老朽化への対応	【課題⑦】 災害時における船舶と海路(輸送拠点・避難など)の活用	【課題⑧】 温室効果ガス削減に向けたカーボンニュートラルへの取組	【課題⑨】 海域環境の保全	【課題⑩】 クルーズ船受入環境とインバウンドの促進	【課題⑪】 マリンレジャーの適正な推進	【課題⑫】 人流増加に向けた目的地づくりの推進
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物流の2024年問題」や「脱炭素化」における対策としてモーダルシフトの進展への対応</li> <li>コロナ禍や地政学的リスクに伴うサプライチェーンの変化、減少した貨物量の回復への対応(戦略的ポートセールス)</li> <li>道路網の整備や鉄道などの広域交通・地域戦略との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物流の2024年問題」や「脱炭素化」における対策としてモーダルシフトの進展への対応</li> <li>取扱貨物の見直しも含めたターミナルの適正配置による港区間連携</li> <li>船舶大型化に対応した施設整備</li> <li>広域道路網の整備や鉄道などの広域交通・地域戦略との関わり</li> <li>北極海航路の開発・利用に関する動向を注視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾労働者及び港湾技術者不足に対応する業務効率化・生産性向上</li> <li>インランドデポ、物流機能の分散化</li> <li>仮バースや船員の休息等を考慮した岸壁の有効利用</li> <li>若者への港湾の仕事に対する魅力発信、担い手確保</li> <li>港湾システムのサイバーセキュリティ対策</li> <li>担い手不足を踏まえた「港湾の自動化・無人化」の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災事例及び広域港湾支援の可能性を踏まえた災害対応力の向上</li> <li>港のプランディングとしても重要な港湾BCPの適切な整備</li> <li>能登半島地震を踏まえた離半島を含む広域海上防災体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路等の整備と水深の適切な維持・確保に向けた海面処分地の確保</li> <li>浚渫土の処分コスト増大への対応(石巻港区への運搬)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な施設の長寿命化に加え、港区間連携の強化を見据えた施設再編・最適化による維持管理コストの縮減・平準化</li> <li>将来の気候変動を見据えた施設更新や協働防護の方針整理</li> <li>適切な維持管理による常時・災害時の持続性確保や船舶の航行安全の確保</li> <li>防舷材や係船柱など船舶の利用状況を踏まえた適切な更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急物資輸送や救助・避難支援、通常貨物利用や他港代替利用など様々な状況を踏まえた防災拠点としての体制構築</li> <li>能登半島地震を踏まえた離半島を含む広域海上防災体制の構築</li> <li>感染症拡大も含め国のガイドラインを踏まえた適切なBCPの整備</li> <li>災害復旧に資する作業船舶の収容能力の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携による港湾脱炭素化推進計画の着実な推進</li> <li>水素・アンモニア等の次世代エネルギーのサプライチェーン構築への対応</li> <li>化石燃料からの転換等に伴う取扱貨物の変化への対応</li> <li>グリーン海運回廊など国際協力の枠組みを踏まえた国際拠点港湾の優位性確保</li> <li>係留中船舶の脱炭素化の要請に応える陸上電力供給施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海域環境の変化を踏まえた自然環境の資源としての保全と港湾の開発・機能強化との適切な共生</li> <li>公害防止をはじめ、環境に配慮した港湾利用の促進に向けた仕組みづくり</li> <li>環境に配慮した港としての優位性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズターミナルの整備を含め、各港区の連携による総合的な受入環境の整備</li> <li>地元観光振興と連携したインバウンド受入体制の構築</li> <li>CIQ対応も含め、国のガイドラインを踏まえたクルーズ船受入機能の高度化、利便性向上への対応</li> <li>各港区、関係機関の連携による松島や背後圏への円滑な二次交通の確保、周遊ルートの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多彩なマリアクティビティ機能の導入・拠点化</li> <li>港湾労働者が安全・安心に働けるみなとづくり(マリナクティビティとの棲み分け)</li> <li>安全性の高いプレジャーボート係留施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野蒜築港など歴史的なインフラツーリズムの視点</li> <li>地域ならではの魅力的な目的地づくり</li> <li>海路・陸路の連携ネットワークによる広域観光ルートづくり</li> <li>人流増加に資する交通ネットワーク整備促進</li> <li>スムーズな観光地への移動に係る二次交通の確保</li> </ul>
仙台	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北経済を支える北米・東南アジアダイレクト航路の誘致(船舶の大型化に対応した施設整備・ポートセールス)</li> <li>内航フィーダー機能の拡充(京浜港との連携強化など)</li> <li>貨物量の増大を見据えたコンテナターミナルの更なる拡張、出入り渋滞緩和を含め、ターミナル内外の輸送効率化、高度化</li> <li>コールドチェーンや危険品の取扱などサービスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットロードの増加を踏まえたターミナルの集約・再編、利用の効率化・高度化</li> <li>モーダルシフト進展に伴うROROバースやフェリー貨物も含めた背後ヤードの不足への対応(土地造成や施設整備)</li> <li>点在する背後ヤードへの貨物移動の効率化(臨港道路を含めた見直し)</li> <li>安全な荷役に資する港内静穏度の適切な確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナターミナルの自動化・AI化</li> <li>次世代高規格ユニットロードターミナルの整備</li> <li>貨物車両に対するスマートチェックインの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北広域港湾の枠組みに加え、首都圏港湾の被災も視野に入れた広域的な物流支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた開発空間において、沖合を含む更なる土地造成に向けた用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存岸壁の水深管理の徹底と、適切な水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害時における通常貨物利用と緊急物資利用の両面を踏まえた対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集積する製造業やエネルギー産業における脱炭素化の取組への支援</li> <li>製油所や発電所等における次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> <li>国際的な要請に対応したコンテナターミナルの優位性・信頼性確保(ターミナル内の脱炭素化推進やCNP認証の取得など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲生干潟の生態系の保全</li> <li>沖合展開や将来開発空間の活用における適切な環境配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流拠点における大型クルーズ船の寄港需要増加への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなとオアシス・仙台港」を核とした観光交流機能の拡充</li> </ul>	
塩釜	<ul style="list-style-type: none"> <li>減少した貨物量の回復に向けた港湾機能の強化</li> <li>機能配置転換によるバルクふ頭の再編</li> <li>利用貨物増大に向けた対策の推進</li> <li>既定計画の適切な推進(航路整備)</li> <li>仙台港区の補完港としての位置付けと水深・岸壁等の機能確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸壁の利用促進に向けた仮バースや給水等補給需要の増加への対応</li> <li>商業エリアと直結する地理的優位性を踏まえた、内航船員の休息利用への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなバース整備による大規模災害時の総合的な連携・補完機能の強化(バックアップバース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港奥部における親水空間としての用地需要への対応</li> <li>物流・防災面での補完機能を担うための用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島への緊急物資等の支援に対応した耐震施設の整備</li> <li>海上保安拠点として、巡視船が引き続き配備可能な基地機能の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油槽所等における次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別名勝松島における独自景観の保全</li> <li>航路整備における自然環境や景観への適切な配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅客ターミナルや松島観光船等の優位性を活かした小型クルーズ船の誘致港としての位置づけによる総合的なクルーズ受入体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなとオアシス・マリゲント塩釜」を核とした観光交流機能の拡充</li> <li>港奥部再開発による塩釜ベイエリアの活性化、経済的視点も含め市民・来訪者が親しみやすいにぎわいの拠点形成</li> <li>周辺基幹道路の計画を踏まえた臨港交通計画の見直し検討</li> </ul>	
松島					<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の円滑な避難・帰宅支援への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別名勝松島における独自景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンドの増大に対応した観光サービスの向上(猛暑対策などを含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリーに対応した観光棧橋の拡充</li> </ul>	
石巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型穀物船に対応したバルクふ頭の整備</li> <li>安全な荷役に資する港内静穏度の適切な確保</li> <li>道路網の整備や臨海鉄道など広域交通ネットワークと連携した貨物需要の創出</li> <li>点在する類似取扱品目の集約、新たな輸送方法の導入による背後利用の効率化・省力化</li> <li>需要予測を踏まえた背後用地の有効活用</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁の早期整備</li> <li>離半島地域を含む広域海上防災拠点港湾としての体制構築(命のみなどネットワーク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自港区のみならず、他港区や内陸公共残土の受入も踏まえた総量確保</li> <li>開発可能空間の利活用に対する新たな用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存岸壁についても利用船舶の大型化を踏まえた機能の確保</li> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁の整備に加え、緊急物資の輸送・保管に対応した輸送路空間の確保</li> <li>離半島地域を含む広域海上防災拠点港湾としての体制構築(命のみなどネットワーク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集積する製造業における脱炭素化の取組への支援</li> <li>次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備(将来開発空間の活用など)</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光への交通ネットワークの優位性を踏まえたクルーズ船の誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> <li>港内安全性の確保を踏まえた大曲地区へのプレジャーボートの集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内港地区における河川整備との整合性や水辺空間のにぎわい創出</li> </ul>	